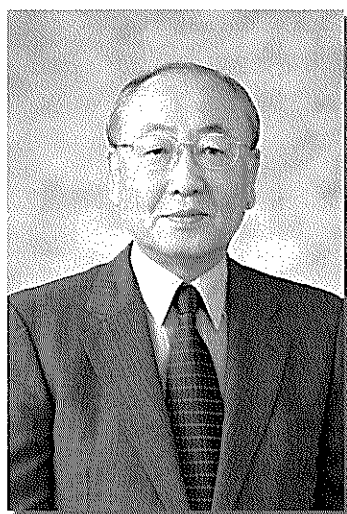


賀川豊彦 献身100年記念・北海道集会



賀川豊彦に学び 明日の北海道と協同組合を考える

—記念講演—



北星学園大学・北星学園大学短期大学部
学長 金井 新二氏

●研究分野 宗教現象学、キリスト教思想史

●主な研究業績

〈著書〉「神の国」思想の現代的展開(単著)、現代宗教への問い(単著)など

〈学術論文〉「解釈学的現象学としての宗教現象学—その分析地平と『現象』」など多数



賀川豊彦／1888～1960

1909年12月24日、21歳の賀川豊彦は貧困にあえぐ人々のために献身しようと、神戸のスラムに身を投じました。明治、大正、昭和と激動の時代の中で、公正で平和な社会の実現のために、全生涯を捧げ、日本の近代化に大きな足跡を残しました。

日時 2010年11月12日(金)

〈受付〉14時00分～

〈開会〉14時45分

〈講演〉15時00分～16時30分

〈パネル展示〉14時00分～17時00分

※会場内にて展示します。

参加費
無料

会場 札幌パークホテル 3階 エメラルド 〈住所〉札幌市中央区南10条西3丁目

●主催団体 (アイウエオ順)

共栄火災海上保険株式会社 北海道支店

全国共済農業協同組合連合会 北海道本部

全国労働者共済生活協同組合連合会 北海道本部

北海道生活協同組合連合会

北海道労働金庫

●共催団体 (アイウエオ順)

全国共済水産業協同組合連合会 北海道事務所

日本生活協同組合連合会

北海道漁業協同組合連合会

北海道森林組合連合会

北海道農業協同組合中央会

北海道労働者福祉協議会

伝えたい、
100年前の「献身」。

賀川豊彦 献身100年記念 北海道集会 実行委員会



賀川豊彦(1888 - 1960)は、明治、大正、昭和にかけて、愛の精神にもとづいて、人々の人格や人権が尊重される公正で平和な社会を実現するために、その全生涯をささげ、日本の近代化に大きな足跡をのこしました。労働運動、農民運動、協同組合運動、普選運動、平和運動、幼児教育、社会福祉活動など、賀川が関わった社会改良運動は実に広範な分野に及んでいます。それらはまた、まさしくボランティアの先駆けでもありました。賀川の思想と実践の原点は、ほかならぬ社会の最底辺に追いやられた人々との13年半におよぶ生活にあったと言えるでしょう。

1909(明治42)年 12月 24日、21歳の青年賀川は、当時、劣悪な環境下で生きることを強いられた人々が生活するその地域に住み込み、そしてその人々と共に歩むことを決意し、キリスト教伝道のほか、実にさまざまな社会活動をしたのでした。そこからさらに、貧しい労働者や農民が尊厳ある人間として生きることのできる権利を獲得するために、数々の社会運動を展開しました。

2009 年は、その時から 100 年の年になります。私たちは、これを記念して、「2009 賀川豊彦献身 100 年 ―平和・人権・共生―」の名のもとに、基調講演、シンポジウム、出版、など、さまざまな事業を計画しています。それは単に賀川豊彦を顕彰したり追憶したりするためのものではなく、私たちの生きる現代社会、さらには子孫の生きる未来社会において、賀川の思想と実践が貴重な指針と可能性を与えてくれると信じるからです。

日本は豊かになる、しかし、日本人の心は貧しくなるであろうと、賀川は敗戦後の日本と日本人に警告のことばを語りました。現代の日本は、その賀川の子言どおりになっています。戦後 60 年を経過して、経済的には世界有数の大国となった日本の、あらゆる方面での腐敗と墮落、モラルの荒廃は目を覆うばかりであり、未来への明るい展望は見出せていません。世界に目を転じて、貧富の格差の拡大、テロと戦争、環境破壊等々、地球規模の危機は深刻になるばかりです。

このような今こそ、賀川豊彦の生涯と精神、理論と実践に学ぶことは、きわめて大きな意義があります。私たちは賀川豊彦の献身100年を期して、賀川の現代的意義と可能性を確認し、未来への指針を得るためにこの記念事業を計画しました。この趣旨に是非ともご賛同くださり、記念事業にご参加いただきますよう、心からお願い申し上げます。

「賀川豊彦献身100年記念事業全国実行委員会 趣意書」より

